

貞光ゆうゆうパーク(地域や世代を超えたふれあいの場)



中学校と老人ホームが連携した「車いすウォーキング」イベント

<活動内容>

利用人数のさらなる増加を目指し、関係団体等により、平成21年「ゆうゆうパーク及び周辺利用者連絡協議会」を結成。利用者が少ない夏期の利用率アップのため近隣市町の小中学生を巻き込んだイベント「吉野川であそぼう」を県内の大学とも連携して開催するほか、町民以外も参加できる陸上競技大会を開催する等により、近隣市町からの利用者も増加し(H26年:約5.1万人)地域活性化に大きく寄与するとともに、学生スポーツの振興と住民相互の貴重な触れ合いの場の確保の両立が図れるようになった。



イベント「吉野川で遊ぼう」(アユのつかみ取り)

活動主体

ゆうゆうパーク及び周辺利用者連絡協議会

対象となる社会資本

貞光ゆうゆうパーク ※管理者:つるぎ町